

がんばっています!



福田 智興さん
紹介JA：JAれいほく



天草郡杵北町で、みかん、その他柑橘類の栽培をされている、福田智興さん。

福田さんのご家族は、奥様とお子様2人、福田さんのお母様の5人です。現在は、お母様と2人で営農さ

**出荷者：松永 雄治さん
陽子さん**
直売所：よかよかうまか
とれたて市場 嘉島店
紹介JA：JAかみましき



上益城郡嘉島町で、アスパラガスやにんにく等を栽

れています。

●就農について

福田さんは、専門学校卒業後、地元の測量会社へ就職。名古屋・大阪・福岡と県外での仕事も多く経験されました。

しかし、実家が柑橘農家で「いつかは後継ぎを」と考えていたことから、5年間勤めた会社を辞め、就農されました。

●就農して辛かったこと

「平成27年の水害です。全てが水に流され、圃場もグ

チャグチャグでした。畑や田んぼなど、全てが水に浸かりました。ひどかったです。

柑橘の木が老木になっていたので改植をし、「さあ収穫だ」という年の水害でした。苦勞してやっと終わったのに、また、やり直さなければならず、経済的問題や、先の見えない不安とで途方に暮れました。」

●農業をやっていて良かったこと

「いろいろな方々との出会いがあったことです。自分で販売もしていたことか

ら、良い方々と出会えました。他の生産者や顧客など、熱心に応援してくれる人が多く、嬉しかったです。」

●将来への思い・抱負

「自分が楽しめる農業を目指します。これまでも楽しみなが農業をするというスタンスでやってきました。今後もし生産に工夫をし、消費者と交流できるイベントや、農園ボランティアもやりたいです。また、子どもが喜んで後を継いでくれる環境を整えることが、最大の目標です。」

●好きな言葉

「『明日やろうは、バカ野郎』です。農業において、先延ばしにして良いことはありません。やっておけば良かったと後悔しても、1年も待たなければいけないなりません。」

お子さんのサッカーの試合を観るのが一番の楽しみと語る福田さん。ご自身もサッカー少年だったこともあり、お子さんへアドバイスをしたり、一緒に練習にも励む福田さんでした。

培されている松永雄治さん、陽子さん夫妻を取材しました。

●就農について

雄治さんのご実家は、米・麦・大豆農家であることから、雄治さんはサラリーマンの傍ら、陽子さんと一緒に兼業農家として就農されました。

しかし、雄治さんが農業一本で仕事をやる意思を固めたため、4年前から陽子

さんと一緒に、新たにアスパラガスを、2年前からにんにく栽培を始めました。

●苦しかったこと

「就農1年目の熊本地震と翌年の台風ですね。地震で地面が割れ、作物の根や茎がやられました。また、翌年の台風ではハウスが崩壊し、全てが台無しになりました。」

●直売所への出荷について

「直売所があったから、今の自分達もあるのだと思

います。家から近いのもありますが、熊本地震直後、収穫したアスパラガスをどうしようかと途方に暮れていたとき、直売所の会長から声を掛けていただき、本当に助かりました。他のスタッフの皆さんも、親切で何かと気にかけてくださっています。

新鮮で安心・安全なものを、皆さんに食べていただきたいと、朝から収穫したもののだけを、陳列しています。」

●今後の目標

「地域の皆さんにお世話

になっっているので、恩返しをしたいです。大豆の早期収穫・収量アップの確立など、良い栽培方法を率先して実践し、地域の皆さんへ情報提供をしたいです。」

●座右の銘（雄治さん）

「ある方の言葉ですが『人につくれ 土につくれ 作物につくれ』です。今やっと、言葉の意味がわかるようになりました。人との繋がりは一番大切だと自分でも思います。」

かわいいお子様2人と、日本各地へ車で出かけることが楽しみとのこと。笑いの絶えない松永さんご夫婦でした。